

「第19回新潟技調講演会」が盛況に開催されました！



〈笹所長による挨拶〉



〈宮田室長による基調講演〉

平成30年9月27日（木）、新潟市民プラザ（NEXT21、6階）において「第19回新潟技調講演会」を開催しました。

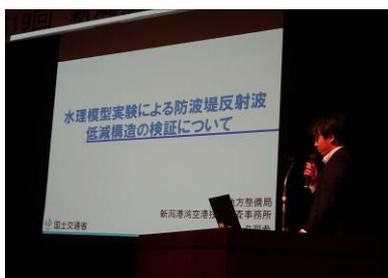
本講演会は、北陸の海・空のみなとづくりをわかりやすく伝え、市民や港湾関係者の皆様にみなとへの関心と理解を深めて頂くために毎年開催しており、今回は108名の方に参加頂きました。

笹所長の挨拶の後、国土技術政策総合研究所宮田正史港湾施設研究室長より「港湾の施設の技術上の基準・同解説」の改訂骨子についてと題した基調講演が行われ、11年ぶりに改訂された「港湾の施設の技術上の基準・同解説」の基本理念、改良設計の基本的考え方、部分係数法の見直しなどを中心にご説明頂きました。

「改訂作業は約10年間隔で行われており、そこで港湾技術の大きなPDCAサイクルを回し続けている。港湾に係る技術政策の実行を根幹的に支える港湾技術基準を策定することは、本基準を中心として、組織・人材の能力維持・向上、時代を超えた技術伝承を図るためのツールになりうる。」と改訂作業に取り組んだ思いを話されました。

基調講演の後、事務所業務報告として、高縁技官から「水理模型実験による防波堤反射波低減構造の検証について」と題した報告を行いました。防波堤の反射波低減対策として使用される消波ブロックの断面について、一般型と没水型を比較した水理模型実験（断面実験）による検討状況を紹介しました。

今年も多数の方にご参加頂き、盛況に開催することが出来ました。



〈技調事務所からの報告〉



〈会場の様子〉



〈質問の様子〉